刈高自動取扱説明書

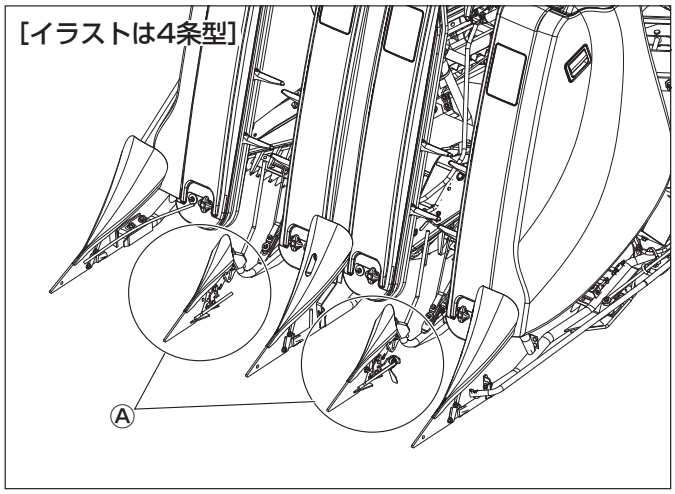
No.011912-37429842000

1. 刈高自動制御装置

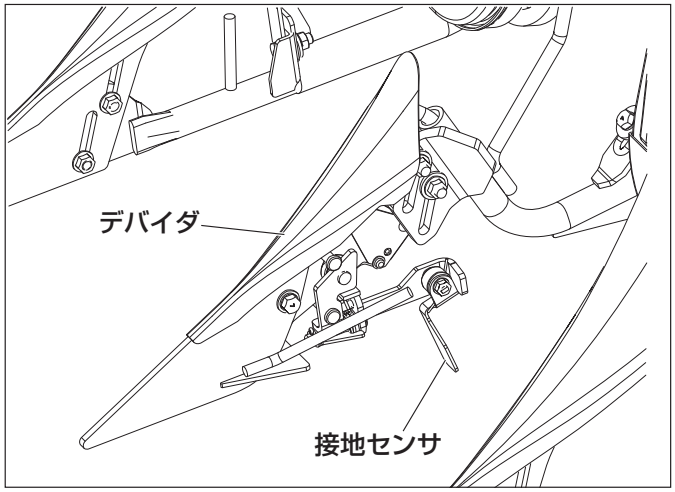
刈高自動制御装置は，刈取作業中の刈取部の高さを地面に対して一定以上の高さに修正する（上げ自動），または一定の高さに修正および保持する（追従自動）装置です。

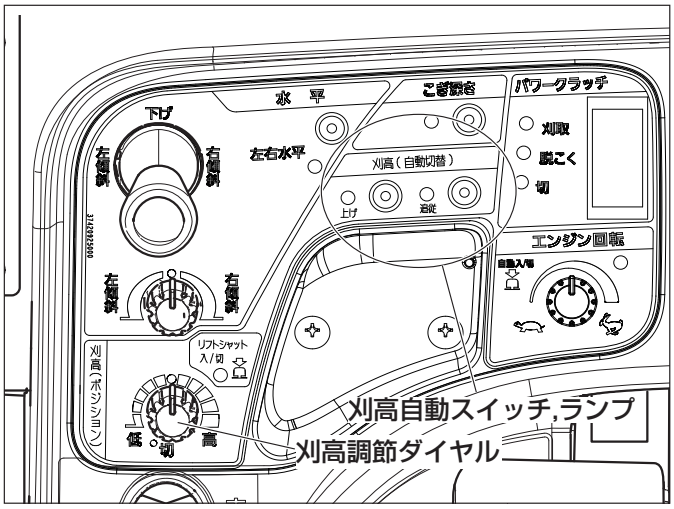
1-1. 接地センサ

ほ場の地面高さを検出するセンサです。
デバイダ後方の刈取下部に２個（左右）取付けられています。



[Ⓐ部拡大図]



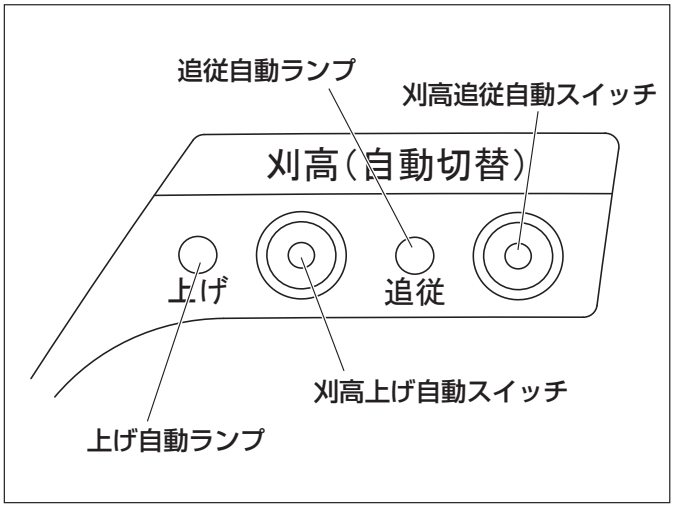


1-2. 刈高上げ自動スイッチ

刈高上げ制御の「入」「切」をするスイッチです。
刈高上げ自動スイッチを操作すると，「入」のときはランプが点灯します。

1-3. 刈高追従自動スイッチ

刈高追従制御の「入」「切」をするスイッチです。
刈高追従自動スイッチを操作すると，「入」のときはランプが点灯または点滅します。



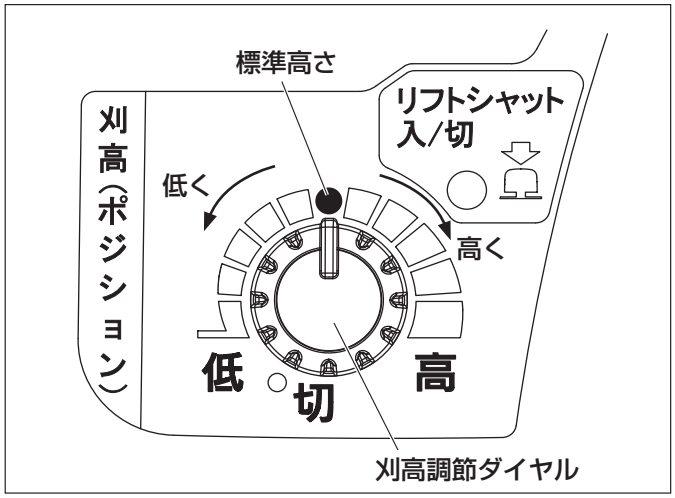
1-4. 刈高調節ダイヤル

刈高追従自動を使用するときの刈取部高さ設定を任意位置で調節するダイヤルです。

刈高調節ダイヤルを時計方向に回すと刈高設定が「高く」なり，反時計方向に回すと刈高設定は「低く」なります。

刈高調節ダイヤル中央位置「●」は標準高さ（刈高さ約50mm程度）です。

刈高さポジションコントロールのダイヤル調節と兼用機能です。（取扱説明書　4.刈高さポジションコントロール参照）



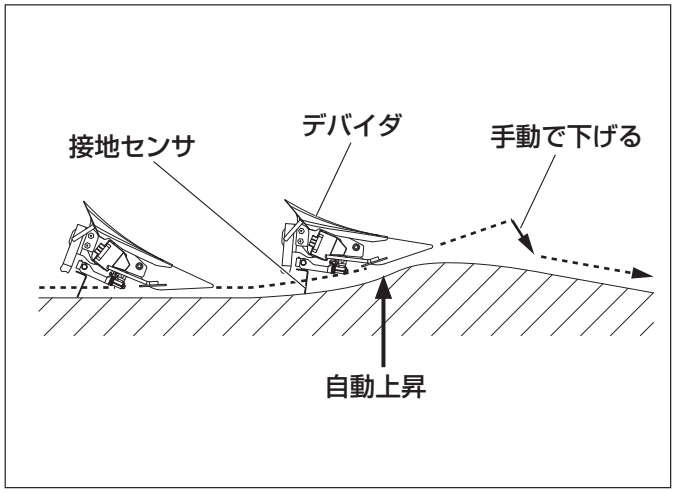
2.刈高上げ自動および刈高追従自動について

2-1. 刈高上げ自動

デバイダの地面への突っ込みを防止する機能です。

刈取中，デバイダが地面に突っ込む前に接地センサが地面高さを検出し，自動で刈取部を上昇させます。

刈取部を下降させる動作は，マルチステアリングレバー操作で行ってください。



2-2. 刈高追従自動

刈取部が地面の凸凹に追従して，刈高さを一定に修正および保持する機能です。

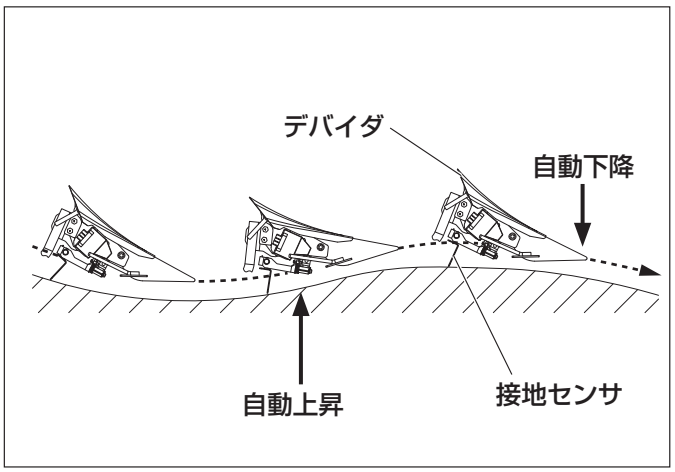
刈取中，接地センサが地面の凸凹を検出して，自動で刈取部を上昇および下降させます。

刈高さ追従自動に入る前（追従自動待機中）は，追従自動ランプは点滅しています。

刈取作業状態で，機体を前進動作させながら，マルチステアリングレバーにて下げ操作をし，刈取部を下降させて，接地センサが地面と接地状態となったら，刈高さ追従自動の動作状態となります。このとき，刈高さ追従自動ランプが点灯し，ブザーが鳴ります。

刈高さ追従動作中に，マルチステアリングレバーで上げ操作をすると，刈高さ追従自動状態が解除されます。（追従自動待機状態）

追従状態にしたいときは，再度マルチステアリングレバーを下げ操作し，接地センサを接地状態にしてください。



使用上の注意

・フレームやセンサ部が変形，破損した場合は，刈高自動での作業を中止してください。
・ほ場や作物条件，作業条件により刈高自動制御装置が誤作動をする場合があります。
・誤作動をする場合は，刈高上げ自動スイッチ，刈高追従自動スイッチを「切」にして作業を行ってください。
・横刈りや，急な方向修正をすると，刈取部が上昇する場合があります。
・あぜ際では，刈高さ設定が低いと，あぜに刈取部が突っ込む場合があります。
・雑草が多いほ場では，雑草が接地センサに引っ掛り（乗り上げ），刈取部が上昇する，または下降しない場合があります。
・軟弱地面では，接地センサが落ち込み，刈取部が低くなる，または地面に突っ込む場合があります。
・起伏が激しく機体姿勢が大きく変化する場合には，刈取部の上昇が間に合わない場合があります。
・溝や麦うねでは，接地センサが落ち込み，刈取部が低くなる，または地面に突っ込む場合があります。
・左右両方の接地センサが，ほ場の溝またはわだちの上を通ると，デバイダが地面に突っ込むおそれがあります。刈高上げ自動スイッチおよび，刈高追従自動スイッチを「切」にし，マルチステアリングレバーを操作して刈取作業を行ってください。
・接地センサの下部に泥またはワラが付着すると，誤作動をすることがありますので，エンジンを必ず止めてから泥またはワラを取り除いてください。

取扱いのポイント

・自動制御がはたらいているときでも，マルチステアリングレバーによる操作が優先されます。
・刈始めに，切ワラまたは土の盛り上げを接地センサが検知して刈取部が上昇する場合は，前進しながらマルチステアリングレバーで適正な高さに修正してください。
・切り株や未刈稈に接地センサが乗り上げると，刈取部が上昇する，または下降しない場合があります。
切り株や未刈稈に乗り上げる場合は，トリガースイッチを握り手動にて高さ調節してください。
※トリガースイッチを握っている間は自動が「切」状態となります。

